東京都 あきる野市

稲足神社霊園

いなたりじんじゃれいえん

静謐な鎮守の杜に包まれた全国でも稀な神社が守護する霊園

神社が鎮守の杜に設立した霊園が東京都あきる野市にある。
神道崇敬者はもちろん、宗教不問、誰でも利用できる。
永代祭祀の象徴「古墳型樹木葬」が年内完成の時を待つ。

深い緑と瑞々しい風光に抱かれたあきる野市に鎮座する稲足神社。「稲足神社霊園」は、神社を囲む鎮守の杜の中に広がっている公園型霊園である。神社が霊園を管理・運営するのはじつはレアケースだ。昭和の時代に入り、神道界に「神社霊園をつくろう」との機運が高まり、神社本庁の指導の下、２００１（平成13）年同霊園が誕生した。

古墳型樹木葬が誕生 神社が永代に護る

清々しい雰囲気の園内には永代祭祀家族墓「四神（しじん）の丘」、納骨堂に一般墓地、芝生墓地が整う。

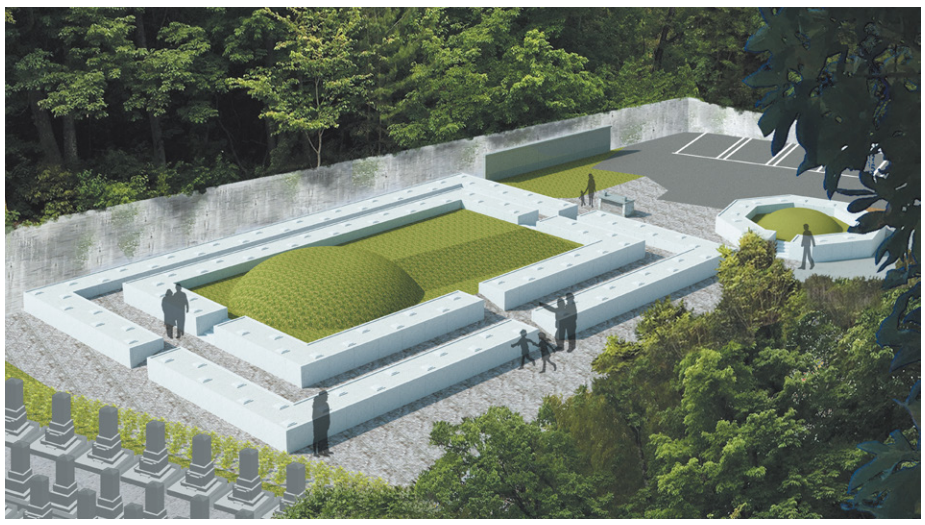
四方の守護神、青龍・白虎・朱雀・玄武が石碑に描かれた「四神の丘」は家族4柱まで入れることのできる「永代家族墓」。納骨堂には骨壷で2柱が納められる。参拝は納骨堂の真上に建てられた御霊殿で行われる。永代家族墓と納骨堂の使用期間は30年間とし、その後は合葬される。

また本年中に、霊園内最上部の墓域に、前方後円墳と八角墳の形をした2基の合葬墓が完成予定となっている。完成後は、神社が永代にわたり守護する決意を具現化した全墓域のシンボルになる。一般墓や芝生墓の利用者も、墓の撤去費と合葬墓の利用費を事前に納めることで、最後はここで合葬される。

「神道崇敬者にはここに神社霊園があることをぜひ知っていただき、初詣や七五三にお参りするように、お墓としてお選びいただきたい」と参拝していただきたい」と禰宜（ねぎ）の小川修太氏は願う。

同霊園には都内近県のみならず、神道崇敬者が多いといわれる宮崎、鹿児島をはじめ全国から問い合わせが寄せられるという。

稲足神社には境内社として「韋駄天尊」が祀られており、健脚健康祈願に訪れる人も多いという。鎮守の杜で健康長寿を祈りながら、大切な人のお墓参り。この上ない祈りの場所といえそうだ。


広大な霊園敷地内に年内完成予定の前方後円墳と八角墳のシンボリックな造形の「古墳型樹木葬」（完成予想図）

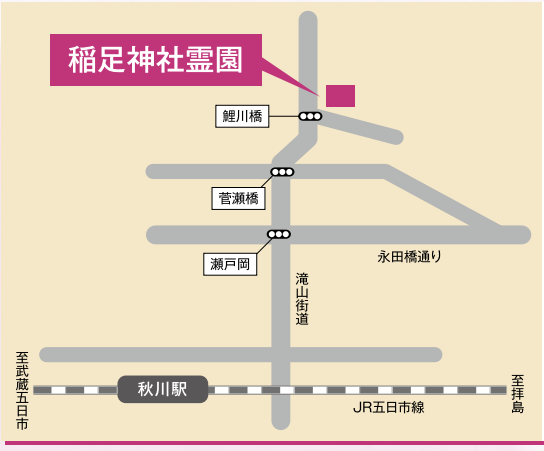
「永代家族墓」が整然と並ぶ四神の丘

「墓前祭祀」の場面

納骨堂の真上に立つ「御霊殿」。
墓誌には納骨された人全員の名前が刻まれる

寛文9（1669）年現在の江東区亀戸に創建されたといわれる稲足神社。明治元（1868）年に亀戸香取神社の奉仕となり、昭和63（1988）年には独立した神社として現在の場所に遷座。面足尊（おもだるのみこと）・惶根尊（かしこねのみこと）を祀る

霊園入り口から入って左手にある「神道会館」。授与品や御朱印などもこちらで扱っている。1階は休憩室、2階は年祭・直会などが行われる



アクセス

電車：JR五日市線「秋川駅」から西東京バスで10分
JR青梅線「小作駅」から西東京バスで18分

クルマ：圏央道「日の出IC」から2km、関越道鶴ヶ島JCT・中央道八王子JCT・東名道海老名JCT経由

おすすめ情報

永代祭祀家族墓のご案内

「四神の丘」（第二墓域）
白虎区画（個別墓）
ご契約（個別墓+共用式合葬墓）74万円
朱雀・玄武区画（個別墓）
ご契約（個別墓+共用式合葬墓）79万円 ※青龍区画は販売終了
※個別墓には、ご遺骨を骨壷に入れたまま四柱までお納めすることができます。使用期間は30年。
その後は合葬墓に遷っていただき、永代に亘りお祀りさせていただきます。個別墓の使用期間を延長可能です

古墳型樹木葬のご案内

霊園内のすべての墓域から遷ることができる合葬墓です。
最初からご契約、ご利用いただくことも可能です。
詳細は追ってお知らせします。

納骨堂のご案内

二柱用契約 60万円　一柱用契約 40万円
※納骨壇は全て二柱のご遺骨を骨壷に入れたまま納められるようになっております。使用期間は30年。
その後は堂内の合祀墓に遷っていただき永代に亘りお祀りさせていただきます

稲足神社霊園 東京都あきる野市菅生871
TEL.042-558-7776
受付時間 8:00～17:00（稲足神社社務所）
https://www.inatari.or.jp/reien/